

閉会行事

1. 次期関東甲信越静社会教育研究大会開催県あいさつ 群馬県社会教育委員連絡協議会会長 岩崎 哲 氏

皆様、本日は第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会が大盛会のうちに行われております。おめでとうございます。

次回大会は令和8年11月19日・20日の2日間、群馬県高崎市にありますGメッセ群馬で開催いたします。大会スローガンは「はばたけ未来へ 力あわせる社会教育～つる舞う形の ぐんま から～」です。

研究主題は「学びから生まれるつながりやかかわりあいを通じたウェルビーイングの実現に向けて～社会教育委員の積極的な関わりを通して～」ということで設定しております。

初日のプログラムは、昨年真打に昇進した群馬県高崎市出身の林家つる子さんの記念講演を予定しております。2日目は「地域の教育力向上に向けた取組」「青少年教育と地域づくり」「今後求められる社会教育委員の役割」「地域資源を生かした次世代へのつながりづくり」「地域と学校の連携・協働」の5つをテーマに分科会を開きたいと思っております。

どうか来年も、この神奈川大会のようにたくさんの方がいらしてくださいようにとお願いして挨拶いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



2. 全員合唱

ゆず「栄光の架橋」 作詞・作曲：北川 悠仁
指揮 : 大会実行委員会委員
鈴木 敦子
ピアノ伴奏：大会実行委員会副委員長
佐々木 和子



3. 閉会のことば

大会実行委員会副委員長 丸田 昭文

「栄光の架橋」の合唱、いかがだったでしょうか。会長の挨拶にもありまして、おもてなしの心を持ってこの歌を選び、皆様と一緒に合唱させていただきました。本大会が、本日御参会の皆様方のこれからの社会教育活動の架橋になればと願っております。

それではこれもちまして、開会行事、講演会、シンポジウム並びに閉会行事を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

